

Press

2009年4月17日(金)

インテリア ライフスタイル

東京ビッグサイト(東京国際展示場)西ホール

2009年6月3日(水) - 5日(金)

メサゴ・メッセフランクフルト株式会社

プレス・PR担当:新居延(ニイノブ)

Tel.: 03-3262-8453

Fax: 03-3262-8442

niinobu@mesago-messefrankfurt.com

IL09_2jp

若手デザイナーと企業を結ぶプラットフォーム「neON」参加デザイナーが決定！

クオリティーの高い出展製品、ユニークな展示スタイル、トレンドを先取りした特別企画が人気の国際消費財専門見本市『インテリア ライフスタイル』が、6月3日(水)から5日(金)の3日間、東京ビッグサイト西ホールにて開催される。暮らしを彩る多彩な製品を、「ライフスタイルを表現する重要なアイテム」として展示するライフスタイル提案型のコンセプトがうけて、年々成長を続けている同見本市。昨年は、36カ国・地域から27,390人(国内26,711人、海外679人)の来場者、および31カ国・地域から652社(国内419社、海外233社)の出展者を記録し、過去最大規模での開催となった。大盛況の前回開催に対する満足感からか、今年は世界的な景気悪化にもかかわらず、昨年よりも多い国内の出展企業を迎えての開催となる。国内外からトレンド・セッターが多数参加するインテリア ライフスタイルの開催に向けて、既に多くの業界関係者の注目が集まっている。

主催者によるトレンドを先取りした数々の斬新な特別企画はインテリア ライフスタイルの見どころの一つ。そんな特別企画の一つとして2006年のスタート以来、若手デザイナーと企業のコラボレーションの機会を提供してきた『neON』は、若手デザイナーにフォーカスしたデザイナーズ・エリアだ。このエリアでは独創的なデザイン提案を行う若手デザイナーが出展し、デザインをアウトソースしたい企業やメーカーの製品企画担当者をインスパイアする。新進気鋭のデザイナーによるデザイン提案が人気を博しているデザイナーズ・エリア『neON』では、今年も10名／組の若手デザイナーがフィーチャーされる。

今年は、アトリエ・ダール・ド・フランス(フランス工芸作家協会)がフランス国内で厳正なる審査に基づきセレクトした若手デザイナー4名／組を迎

インテリア ライフスタイル

える。毎年来場者に大人気のフランスパビリオンをオーガナイズするアトリエ・ダール・ド・フランスが推薦する4名ノ組は、いずれもフランス本国のみならずヨーロッパで注目を集める旬のデザイナーたちだ。上記のフランスからエントリーのデザイナーをはじめ、以下に紹介する3カ国・地域から参加の10名ノ組の出展者(順不同)は、過去最多数の応募者の中から厳選された選りすぐりの若手デザイナーだ。

合板研究所 [DRILL DESIGN + FULLSWING] (日本)

様々な素材を挟んだオリジナル合板を使い、デザインした家具(椅子やテーブルなど)、そして日用品が出展される。合板の持つ可能性を追求したアイテムはいずれも新作ばかり。

ソリッド (日本)

硬質な紙製パネル材を使った組み立て式の椅子やテーブル「UNITECO (ユニテコ)」が出展予定。紙製なので、好きな部分にグラフィックが印刷でき、持ち運びが軽量で、可燃物として処理できるという。ユニークでエコな家具が斬新。

ホラグチ カヨ (日本)

グラフィックデザインの使用例として、ファブリック、照明、リラクシングウェア等のサンプルを展示し、様々な媒体へのオリジナルグラフィックを提案する。

南 政宏 (日本)

かたつむりをモチーフとしたフック「denden(デンデン)」、や山に登る猿をイメージしてデザインされたコートハンガー「saruyama(サルヤマ)」などのユーモラスなアイテムから、機能美を追求したスツールや照明など、木製のインテリア製品を出展。

ライスデザイン (日本)

「デザインを通して『環境』に主体的に参加できるような「気持ち」をデザインしたい」—そんな想いからデザインされたティッシュケースや、パスタケース、ブックスタンドなどを出展。

Talent Thai Nov.05 / Studio Ek / Zimple (タイ)

タイの新進気鋭の3名ノ組のデザインユニットによる、木製の家具やオブジェ、籐製のアイテムなどが展示される。タイの若手デザイナーグルー

インテリア ライフスタイル

プの出展はレギュラーとなっているが、日本市場をきちんとマーケティングしたデザイン性の高い製品が例年好評を博している。

Cecile Chareyron (フランス)

野菜や草花などの植物からインスピレーションを得た遊び心溢れるデザインのアイテムはそれぞれ手触りにも一工夫が。玉葱やフェネルのような形状のプラスチック素材の照明などが出展予定。

Manufacture Des Rigoles (フランス)

皮革(レザー)と陶磁器の組み合わせがユニークなレザーバッグは、ファッション・デザインという枠を超え、彫刻オブジェのようですらある。また、リモージュ焼きの陶磁器を用いたテーブルデコレーションも出展される。今年の「MAISON & OBJET」出展でも注目を浴びたデザイナーだ。

Pierres En L'air – TRACES DU PATRIMONE (フランス)

重そうな岩が宙に浮く！？吊り輪にナイロン紐や針金を通して天上から吊り下げることができる岩のオブジェは本物の岩と見まがうほどのリアルなルックスだが、合成樹脂やガラス繊維でできている。設置するだけで、どこにでもある日常空間を非日常に変えるデザインだ。

SMARIN (フランス)

ニース在住の女性デザイナーによるこのユニットが出展するのはアウトドア用家具。大きな雨粒のような形のガーデン家具は、持ち運びしやすい軽量さと洗練されたデザインが特徴。最新テクノロジーを駆使しながら、エコなこの家具は未来型のアイテムといえるだろう。

昨年に続き、参加者の中から選ばれた 1 名／組の参加デザイナーには、世界最大の消費財見本市「アンビエンテ」(2010 年 2 月、ドイツ・フランクフルトにて開催)内のデザイナー・エリア「talents」に出展する権利が与えられる。出展スペース確保が難しい人気の海外見本市での出展がかかっているとあって、参加デザイナーはみな真剣だ。よりグローバルに活躍したいと願うデザイナーにとって、インテリア ライフスタイルは世界への登竜門となっている。

最新情報は、公式ホームページ(www.interior-lifestyle.com)にて随時確認ができる。

インテリア ライフスタイル

— 終わり —

全 2,549 文字 (スペース含む)

主催者について

メサゴ・メッセフランクフルト株式会社

世界第 2 位の産業見本市オーガナイザーであるメッセ・フランクフルトグループの日本人(代表取締役社長 広瀬 明洋)。見本市(メッセ)大国ドイツの見本市オーガナイザーの中でも、最も長い伝統を持ち、早くからグローバル展開を図ってきたメッセ・フランクフルトグループは、世界各国で年間 100 本以上の見本市を開催している。同社の世界 100 カ国以上をカバーする海外ネットワークを活かして、1987 年の日本法人設立以来、日本国内で業界のキーイベントとなるような国際専門見本市を主催・運営している。

詳細な情報はwww.mesago-messefrankfurt.comをご覧ください。

メッセ・フランクフルト GmbH

年間売上高 4 億 2,300 万ユーロ、世界中に 1,400 人以上の従業員を擁するメッセ・フランクフルト GmbH は、ドイツ最大の見本市会社。メッセ・フランクフルト・グループは、世界中に 14 の子会社、5 つの支社、48 の海外セールス・パートナーを持ち、世界 150 ヶ国以上で事業を展開している。「Made by Messe Frankfurt」の見本市は、世界中 30 カ所以上の会場で開催されている。2007 年にメッセ・フランクフルト・グループが開催した 113 の見本市のうち、69 がドイツ国外で開催されている。

578,000 m²の敷地面積を誇る見本市会場には、現在 9 つの展示ホールとコンgres・センターが設置されている。同社株の 60%はフランクフルト市、40%はヘッセン州が保有。

詳細な情報はwww.messefrankfurt.comをご覧ください。